

## 現状

■ 応援室では就労支援窓口としてのノウハウの蓄積や就労を希望する女性のニーズ分析が進んだ

【就労を希望する女性のニーズ】

- ・子供が病気のときでも、周りに気を遣わずに休みたい
- ・結婚、出産したら時短勤務で働きたい
- ・能力や適正に応じてキャリアアップできる職場で働きたい

■ 人手不足や従業員の定着率を課題としている企業が多い

■ 実績 (H30.11末時点)

	新規相談者数	相談件数	就職者数	就職率(※)	企業訪問件数
H30.11末 (前年同期比)	334人 (1.13)	976件 (1.07)	90人 (0.81)	63.2% (1.02)	695件 (1.94)
前年同期	296人	910件	111人	62.2%	359件
H26からの累計	1,837人	5,447件	597人	-	2,453件

(※) 3ヶ月以内に就職を希望する相談者の就職率 (H26からの累計)

- ・子育て支援センター訪問やイベント、東部・西部での出張相談における新規相談者数：87人
- ・企業訪問件数：695件  
(求人票提供の依頼、就労を希望する女性のニーズの提供、働きやすい職場づくりに向けたアドバイス 等)  
【トビイの例】短時間勤務の受入れ、ワークシェアリングの実施、時間単位の休暇取得制度の設置 等
- ・就職者へのアフターフォローの実施：154件  
(アンケート、電話、メール等での就職後の状況把握、キャリアコンサルティング 等)

## 課題

■ 応援室の認知度はまだ決して高くなく、認知度向上のために広報の強化が必要

応援室の認知度：「知っている」48.9%、「知らない」44.7%  
(再就職準備イベント(すこやか2018)におけるアンケート結果より)

■ さらなる女性労働力の確保に向けて、幅広い年齢層を対象とした掘り起こしが必要

■ 働きやすい職場づくりや定着支援に向けて、企業への支援メニューの周知や就職者へのアフターフォローが必要



## 求職者の動き

イベントの開催

就職



STEP1

イベント等への参加

STEP2

窓口等への相談

STEP3

就職に向けた行動

STEP4

就職

STEP5

長く働き続ける

## 対応

### 就労支援

- ・潜在的な女性労働力の掘り起こし
- ・きめ細かな就労支援

### 企業開拓

- ・求職者のニーズに合った企業の開拓

#### ① 求職者の掘り起こしに向けた広報等の強化

- ・子育て支援センター等への訪問  
(H30：個別訪問→H31：関係性の継続)

**拡充** 再就職支援イベントの開催 (対象者の拡大)  
子育てイベント「すこやか2019」への出席  
(H30：セミナー実施→H31：応援室の周知およびアンケート収集)

**拡充** CM放送、新聞・インターネット広告、SNS等を活用した幅広い年齢層へのPR

**新規** ホームページのリニューアル (求人検索機能の追加等)

#### ② 相談窓口の拡大

**拡充** 東部、西部地域に加え、中部地域における出張相談の実施 (H30：ハローワーク→H31：量販店)

#### ③ きめ細かな就労支援

- ・キャリアコンサルティング、適性検査、求人検索、書類作成・面接練習

#### ④ 企業開拓、求人条件調整

- ・求職者のニーズにあった企業の開拓
- ・働きやすい職場づくりに向けた企業へのアドバイス
- 新規** 企業向けリーフレットの作成、配布

#### ⑤ 就職者へのアフターフォロー&キャリア形成支援

- ・就職決定後の定期的なキャリアコンサルティング
- ・企業への出張セミナー&キャリアコンサルティング

### 相互の情報共有・連携

応援室  
以外

ハロー  
ワーク

ジョブ  
カフェ

福祉人材  
センター

職業訓  
練機関

女性相談  
支援センター

ひとり親家庭等就業・  
自立支援センター

高知県移住促進・  
人材確保センター

高知県働き方改革  
推進支援センター

- ・男女がともに働きやすい職場づくりセミナー  
【県民生活・男女共同参画課】
- ・女性リーダー応援塾【男女共同参画センター ソール】

- ・潜在的な女性労働力の掘り起こし
- ・働くことを希望する女性に対するきめ細かいワンストップ就労支援
- ・相談者を安心して紹介できる企業を増やす

3

### 事業の効果と目標 (H31年度末)

■ 就職者数の増加  
⇒ H31年度の就職者数 200人以上

■ 就職率の向上  
⇒ 3か月以内の就職率 65.0%